

■小和田小学校こわだ会■

- 構成員数：約700世帯＋教職員
- 運営委員長名：川原 葉月
- 委員長より一言：

小和田小学校は昭和43年に松林小学校より分離・開校され、半世紀が経ちました。

辻堂地区の開発により、児童数はここ数年でめざましく増加し、現在約700世帯の児童が在籍しています。

こわだ会はその小和田小学校に通う児童の保護者と教職員が「子ども達の笑顔☆」のために活動する団体で前身のPTAから3年前に生まれ変わりました。

多様な家族構成・家庭事情がある中でも活動を続けていきたい。そのために、強制を無くして「できる時に、できる人が、できることを」を合言葉にそれぞれのできる事を持ち寄って活動しています。

声を掛け合えばたくさんの方が活動に関わってくれます。

そんな風に保護者も楽しみながら、また、地域の方とも連携を取りながら、これからも活動していきたいです。

■年間行事・年間計画■

開催月	行事名	内容
5月	定期総会	オンライン総会
8月	通学路改善提案	提案候補選定・点検
9月	OYG'sイベント	水鉄砲大会
10月	広報誌発行	先生紹介号
通年	登校時見守り隊	朝の登校見守り
通年	活動報告	ホームページ・Instagramにて報告

■赤羽根中学校「保護者と教師の会」■

- 会長名：川原 葉月

赤羽根中学校は、12校目の茅ヶ崎市立中学校として、昭和60年4月、全校生徒（1,2年生）387名で松林中学校内併設校としてその歴史を刻み始め、その年の12月1日（現在の開校記念日）に現在の校舎が落成、今年度で38年目を迎えます。

学区となるこの地域に育つ子どもたちが、中学校生活を終えて巣立つまでの間に、これからの時代を渡る力を身に付けていかれるよう、主体的な学びと活動がつながる学校を目指して、今日も歩みを続けています。

赤羽根中学校「保護者と教師の会」は、開校当初の「学級代表委員会」を発展させ、保護者と教職員の連携を密にし、生徒の人格の形成と、教育環境の充実を図る」ことを目的に「父母と教師の会」として発足し、平成8年度の改名を経て今日にいたっています。

この2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動ができませんでしたが、例年は体育祭・合唱祭・ふれあい講座などの行事運営のお手伝いや、基準服の再利用に向けたリサイクル、推進協主催事業（中学生と大人の集い・地域パトロール）や地域の会への参加・協力等による連携などに、取り組んでまいります。



小和田小 大野 洋 校長



赤松歩道橋そばでの通学路安全点検



赤羽根中 高橋 励 校長



改善が急がれる赤羽根中学校前交差点での安全点検